



■ テーマ名

ウクライナ研究、経済史

■ キーワード

ウクライナ研究、日本・ウクライナ交流史、イギリス経済史、社会史

■ 研究の概要

・ウクライナ研究：

ウクライナの政治・経済・文化・歴史全般に関する研究を行っている。特に現地の政治リーダーとの面会を通じて、ウクライナ国内の政治事情やそれが国際情勢に及ぼす影響について論じている。また、机上の研究だけではなく、実際にウクライナとの交流にも携わっている。それらの知見を基に、ウクライナにおける経済環境やビジネス・チャンスについても分析している。



ウクライナ最高会議(国会)で講演

■ 他の研究／技術との相違点

ウクライナ研究では、現在、国際ウクライナ学会日本支部であるウクライナ研究会の会長を務めるほか、同国の高級官僚養成機関であるウクライナ大統領附属国家行政アカデミーや、ウクライナ国立農業科学アカデミーアグロ・エコロジー環境マネジメント研究所と本学の学術協定にもつながり、机上の研究だけではなく、両国間交流にも貢献している。

■ 今後の展開、実用化へのイメージ

ウクライナのさまざまな大学・研究機関との2国間関係をテーマとした国際会議の開催。

■ 関連業績(特許・文献)

著書『日本・ウクライナ交流史1937-1953年』(神戸学院大学出版会、2022年)

著書『日本・ウクライナ交流史1915-1937年』(神戸学院大学出版会、2021年)

著書『Історія японсько-українських відносин 1915-1937 pp.』上記のウクライナ語版、
ナディア・ゴラル訳、リヴィウ工科大学出版、2021年

著書『ウクライナを知るための65章』明石書店、2018年。

著書『イギリス検認遺産目録研究』晃洋書房、2015年。

著書『マイダン革命はなぜ起こったか - ロシアとEUのはざままで -』ドニエプル出版、2016年。

監訳『詩集 彩られた沈黙』ヴァシル・クイビダ著、ドニエプル出版、2019年

翻訳校正『エンドウ豆太郎(コティホロージュコ)：ウクライナの民話』オデーサ・アストロ出版、2021年

受賞 ウクライナ内閣名誉章 2021年

受賞 ウクライナ最高会議章 2019年

受賞 ウクライナ大統領附属国家行政アカデミー名誉教授 2019年

受賞 名誉博士(ウクライナ国立農業科学アカデミー・アグロエコロジー環境マネジメント研究所第68号2)2013年

■ 研究者から一言

2022年のウクライナ戦争を通じて名前は知られるようになりましたが、まだまだ未知の国ウクライナについて、学術・交流の観点からご紹介できればと思います。